

1 委員会審議経過

内閣委員会

委員一覧（22名）

委員長	大野 泰正（自民）	加藤 明良（自民）	窪田 哲也（公明）
理事	小野田 紀美（自民）	古賀 友一郎（自民）	片山 大介（維新）
理事	太田 房江（自民）	広瀬 めぐみ（自民）	柴田 巧（維新）
理事	上月 良祐（自民）	森屋 宏（自民）	上田 清司（民主）
理事	石垣 のりこ（立憲）	山谷 えり子（自民）	井上 哲士（共産）
理事	宮崎 勝（公明）	鬼木 誠（立憲）	大島 九州男（れ新）
	磯崎 仁彦（自民）	塩村 あやか（立憲）	
	衛藤 晟一（自民）	杉尾 秀哉（立憲）	（会期終了日 現在）

（1）審議概観

第212回国会において、本委員会に付託された法律案は、内閣提出4件であり、いずれも可決した。

また、本委員会付託の請願6種類61件は、いずれも保留とした。

〔法律案の審査〕

一般職の職員の給与に関する法律等の一部を改正する法律案は、人事院の国会及び内閣に対する令和5年8月7日付けの職員の給与の改定に関する勧告及び職員の勤務時間の改定に関する勧告に鑑み、一般職の国家公務員について、俸給月額、初任給調整手当、期末手当及び勤勉手当並びに非常勤の委員、顧問、参与等に支給する手当の額の改定並びに在宅勤務等手当の新設を行うとともに、職員の申告を考慮して勤務時間を割り振る制度における勤務時間を割り振らない日を設ける措置の対象となる職員の範囲を拡大しようとするものである。

特別職の職員の給与に関する法律及び二千二十五年日本国際博覧会政府代表の設置に関する臨時措置法の一部を改正する法律案は、一般職の国家公務員の給与改定に伴い、特別職の職員の給与の額の改定を行おうとするものである。

委員会においては、両法律案を一括して議題とし、特別職国家公務員の給与改定の在り方、賃上げ促進の観点による国家公務員給与の引上げの意義、国家公務員の働き方改革推進の必要性等について質疑が行われ、討論の後、順次採決の結果、いずれも多数をもって原案どおり可決された。

官報の発行に関する法律案は、官報の発行主体、官報に掲載すべき事項、官報の発行の方法その他官報の発行に関し必要な事項を定めようとするものである。

官報の発行に関する法律の施行に伴う関係法律の整備に関する法律案は、官報の発行に

関する法律の施行に伴い、独立行政法人国立印刷局法について独立行政法人国立印刷局の目的及び業務の範囲の見直しを行う等関係法律の規定の整備を行おうとするものである。

委員会においては、両法律案を一括して議題とし、新法制定の意義、関係機関の事務への影響、官報の閲覧・頒布・保存の在り方等について質疑が行われ、討論の後、順次採決の結果、いずれも多数をもって原案どおり可決された。

〔国政調査〕

11月7日、一般職の職員の給与についての報告及び勧告等に関する件について川本人事院総裁から説明を聴取した。

11月9日、悪質ホストクラブ問題の被害者向けの相談・支援体制を整える必要性、物価高騰、賃上げ及び価格転嫁の関係性を踏まえた政府の対策についての新藤大臣の見解、里親等委託率の目標達成に向けた政府の取組、関東大震災時に発生した朝鮮人等虐殺に係る政府内の調査の妥当性、AIを活用した偽情報対策に係る政府の取組、経済安全保障の観点による原油等の備蓄体制及び食料自給率向上に向けた取組、男女間の賃金格差に対する加藤大臣の認識とその是正に向けた今後の取組、不登校対策に係るこども家庭庁の役割等の諸問題について質疑を行った。

11月14日、悪質ホストクラブ問題に対する政府の今後の対応、放課後児童クラブの支援員の処遇に対する政府の取組、生成AIに係る国際的なルール構築に向けた取組、事業が行われずに管理費のみが発生している基金の存在を始めとする国の基金に係る課題に対する河野大臣の所見、保育士配置基準の見直し及び保育士の処遇改善に係る十分な予算確保の必要性、不登校対策を始めとするこども政策においてこども家庭庁が果たすべき役割等の諸問題について質疑を行った。

12月7日、閣議決定文書の政府内における位置付け、外資系企業による投資トラブルの事案に係る政府の対応状況、個人情報保護に係る地方公共団体の理解促進に向けたガイドラインの見直し等の必要性、国の基金に係る点検・見直しの必要性、犯罪被害者等基本法の理念に沿った犯罪被害給付制度の充実の必要性、子供や若者の薬物乱用防止対策においてこども家庭庁が果たすべき役割等の諸問題について質疑を行った。

(2) 委員会経過

○令和5年11月7日(火) (第1回)

- 理事の補欠選任を行った。
- 内閣の重要政策及び警察等に関する調査を行うことを決定した。
- 一般職の職員の給与についての報告及び勧告等に関する件について川本人事院総裁から説明を聴いた。

○令和5年11月9日(木) (第2回)

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 悪質ホストクラブ問題への政府の対応に関する件、物価高騰、賃上げ及び価格転嫁の関係性を踏まえた政府の対策に関する件、里親等委託率の目標達成に向けた政府の取組に関する件、関東大震災時に発生した朝鮮人等虐殺に係る政府内の調査に関する件、AIを活用した偽情報対策に係る政府

の取組に関する件、経済安全保障の観点による原油等の備蓄体制に関する件、男女間の賃金格差の是正に向けた政府の取組に関する件、不登校対策に係るこども家庭庁の役割に関する件等について松野内閣官房長官、松村国家公安委員会委員長、加藤国務大臣、新藤国務大臣、高市内閣府特命担当大臣、古賀内閣府大臣政務官、安江文部科学大臣政務官、川本人事院総裁及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

塩村あやか君（立憲）、上月良祐君（自民）、宮崎勝君（公明）、石垣のりこ君（立憲）、柴田巧君（維新）、上田清司君（民主）、井上哲士君（共産）、大島九州男君（れ新）

○令和5年11月14日（火）（第3回）

○政府参考人の出席を求めることを決定した。

○悪質ホストクラブ問題への政府の対応に関する件、放課後児童クラブの支援員の処遇に関する件、生成AIに係る国際的なルール構築に向けた取組に関する件、国の基金に係る課題に関する件、保育士の配置基準の在り方に関する件、不登校対策に係るこども家庭庁の役割に関する件等について松野内閣官房長官、松村国家公安委員会委員長、加藤内閣府特命担当大臣、新藤国務大臣、高市内閣府特命担当大臣、河野国務大臣、安江文部科学大臣政務官、塩崎厚生労働大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

塩村あやか君（立憲）、鬼木誠君（立憲）、片山大介君（維新）、上田清司君（民主）、井上哲士君（共産）、大島九州男君（れ新）

○一般職の職員の給与に関する法律等の一部を改正する法律案（閣法第1号）（衆議院送付）

特別職の職員の給与に関する法律及び二千二十五年日本国際博覧会政府代表の設置に関する臨時措置法の一部を改正する法律案（閣法第2号）（衆議院送付）

以上両案について河野国務大臣から趣旨説明を聴いた。

○令和5年11月16日（木）（第4回）

○政府参考人の出席を求めることを決定した。

○一般職の職員の給与に関する法律等の一部を改正する法律案（閣法第1号）（衆議院送付）

特別職の職員の給与に関する法律及び二千二十五年日本国際博覧会政府代表の設置に関する臨時措置法の一部を改正する法律案（閣法第2号）（衆議院送付）

以上両案について河野国務大臣、馬場総務副大臣、古賀内閣府大臣政務官、川本人事院総裁及び政府参考人に対し質疑を行い、討論の後、いずれも可決した。

〔質疑者〕

広瀬めぐみ君（自民）、杉尾秀哉君（立憲）、窪田哲也君（公明）、片山大介君（維新）、上田清司君（民主）、井上哲士君（共産）、大島九州男君（れ新）

（閣法第1号）

賛成会派 自民、立憲、公明、民主、共産

反対会派 維新、れ新

（閣法第2号）

賛成会派 自民、公明、民主

反対会派 立憲、維新、共産、れ新

○令和5年11月30日（木）（第5回）

○官報の発行に関する法律案（閣法第8号）（衆議院送付）

官報の発行に関する法律の施行に伴う関係法律の整備に関する法律案（閣法第9号）（衆議院送付）

以上両案について自見国務大臣から趣旨説明を聴いた。

○令和5年12月5日(火) (第6回)

○政府参考人の出席を求めることを決定した。

○官報の発行に関する法律案(閣法第8号) (衆議院送付)

官報の発行に関する法律の施行に伴う関係法律の整備に関する法律案(閣法第9号) (衆議院送付)

以上両案について自見国務大臣、岩田経済産業副大臣、石川内閣府副大臣、こやり国土交通大臣政務官、政府参考人、参議院事務局当局及び国立国会図書館当局に対し質疑を行い、討論の後、いずれも可決した。

[質疑者]

加藤明良君(自民)、吉川沙織君(立憲)、宮崎勝君(公明)、片山大介君(維新)、上田清司君(民主)、井上哲士君(共産)、大島九州男君(れ新)

(閣法第8号)

賛成会派 自民、立憲、公明、維新、民主

反対会派 共産、れ新

(閣法第9号)

賛成会派 自民、立憲、公明、維新、民主

反対会派 共産、れ新

○令和5年12月7日(木) (第7回)

○政府参考人の出席を求めることを決定した。

○関東大震災時に発生した朝鮮人等虐殺に係る政府内の調査に関する件、外資系企業による投資トラブル事案に係る政府の対応状況に関する件、部落差別解消の観点からの個人情報保護法の運用に関する件、国の基金に係る点検・見直しの必要性に関する件、犯罪被害給付制度の充実の必要性に関する件、若年層の薬物乱用防止対策に関する件等について松野内閣官房長官、河野国務大臣、松村国家公安委員会委員長、加藤内閣府特命担当大臣、岩田経済産業副大臣、塩崎厚生労働大臣政務官、安江文部科学大臣政務官、古賀内閣府大臣政務官、川本人事院総裁及び政府参考人に対し質疑を行った。

[質疑者]

石垣のりこ君(立憲)、上田清司君(民主)、鬼木誠君(立憲)、柴田巧君(維新)、井上哲士君(共産)、大島九州男君(れ新)

○令和5年12月13日(水) (第8回)

○理事の補欠選任を行った。

○請願第13号外60件を審査した。

○内閣の重要政策及び警察等に関する調査の継続調査要求書を提出することを決定した。

○閉会中における委員派遣については委員長に一任することに決定した。